

平成 28 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月

1. 学校概要

学校名 気仙沼市立新月中学校

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他（ ）

所在地 〒988-0822
宮城県気仙沼市切通 100 番地

E-mail niitsuki-chu@kesenuma.ed.jp

Website _____

児童生徒数 男子 74名 女子 62名 合計 136名
児童・生徒の年齢 13歳～15歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（ 「生き方」の探求 ）

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

本年度のESD実践事例(本年度の「総合的な学習の時間」における主要な単元のテーマ)

全校テーマ「生き方を探求する学習」(各学年28時間)

全校テーマを基に、各学年の学習テーマを「問い」の形で設定することで生徒の探求心を刺激し、課題解決に取り組むよう促した。個人の探求学習では、書いたり調べたりする活動を大切に、自分の学習ファイルを作成させながらまとめ、新聞やレポート、プレゼンテーション等を活用して文化祭で報告させた。また、集団での探求学習となるキャリアセミナーや各種講演会では、個々の探求学習を刺激するよう講師の先生方と対話を通して交流する場面を意図的に設けるなど工夫した。



全校キャリアセミナー

1学年 探求学習1「社会を知ろう」

<問い:「私たちの社会にはどんな問題やよさがあるのだろうか?」>

自分たちの地域社会において、生徒一人一人が課題であると考えていることについて興味を持って探求学習に取り組ませることができた。また、地域資源(人材等)を活用したことは、身近な課題に目を向けることに有効であった。学習のまとめとして、個々で新聞を作成し保護者に発表する機会を設けた。



地域社会についての講話

2学年 探求学習2「人々を知ろう」

<問い:「社会にはどんな生き方や取組をしている人々がいるのだろうか?」>

自分たちの地域社会で働く人々に実際にインタビューする活動では、働く人々の志や願いを知ることができ、自己を社会に位置付けて考えさせるよい契機となった。また、職場体験学習で働く人々と共に時間を共有することは、自身の生き方を改めて考えさせる上で大変価値のある探求学習であった。



職場体験学習

3学年 探求学習3「生き方を考えよう」

<問い:「将来の自分は社会の中でどのように生きたいのか?」>

自分たちの地域社会の課題を見つけ、どのように生きていくことが大切かを考え、ボランティア活動を企画・実践させることで探求学習に取り組ませた。実際に活動したことから学んだことを、地域社会の望ましい「未来予想図」として個々にまとめ、報告した。さらに、3年間の探求学習の集大成として、文化祭における立志の会では、生徒一人一人が将来の自分の生き方についてステージ発表をした。



立志の会

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）